



国際ロータリー会長
ジョンF.ジャーム

Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



Weekly report

長井ロータリークラブ会長	高橋 勇喜知	第2800地区ガバナー	長谷川 憲治
長井ロータリークラブ幹事	齋藤 圭央	第6ブロックガバナー補佐	今 良明
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテルTel0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 Tel0238-83-2047	会報委員	大道寺 信・大滝 徹・浅野敏明・土屋茂樹

URL: <http://www.nagai-rc.jp>

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

平成29年 2月21日(火曜日) 第2,697回

【月間テーマ】 平和と紛争予防・解決

E-mail: info@nagai-rc.jp

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

<例会報告NO.26>

ゲスト卓話 (株) デジコンキューブ社長 岩瀬 義和 氏

☆会長挨拶 (高橋勇喜知会長)



先々週、白鷹ロータリー主催の寒鰯まつりに、齋藤幹事と五十嵐会員と参加してきました。長井中央ロータリーからは、8名ほど参加しており、盛大に和気あいあいの例会に参加してきました。そこで気づいたのですが、白鷹のパストガバナーもされていた芳賀先生が仕切っておりました。進行や山形舞子の手配等すべてやっておられました。また、先生が勧誘された方の入会式も行われました。どうしても、私たちは会長している時だけ頑張れば良いとの風潮がありますが、芳賀先生は会長をやめても一生懸命やっておられることに感激しました。会長を辞めた後も関わって盛り上げていくことが、ロータリーの勢いにもつながると思いました。また、同じ先々週には、私が会長している安管連の会合がありましたが、全国表彰の伝達をした際に挨拶で、褒められることは一生良いのもであると言うことを申し上げました。雨とムチ等の言葉もありますが、使い分けがいろんな立場で大事であることを伝えました。ロータリーは褒

めてもらうための団体ではないと思いますが、一生懸命やって結果としていろんなところから評価を受けることが理想であり、そのために何をやったら良いかを考えていく必要があると思います。

☆幹事報告 (齋藤圭央幹事)



・2017米山奨学生サブ世話クラブの募集のお知らせが来ております。

☆委員会報告

- ・プログラム委員会 塚田弘一委員長
3月のプログラムが報告されました。
- ・親睦委員長 伊藤克也委員長
4月に予定している観桜会についての打ち合わせを、本日举行しますのでお集まりください。

<ニコニコ BOX>

・高橋勇喜知 会長

先週、遠藤副会長に立派な挨拶して頂きありがとうございました。

・塚田弘一 会員

岩瀬社長、長井の新しい産業の芽を育成して頂き、感謝致します。

☆ゲスト卓話 (岩瀬 義和 氏)



- ・高校卒業後、東芝学園に入り、東芝に勤務していたが、Uターンし、山形パナソニックに入社。その後、どうしてもやりたいことがあり、起業の提案4年目にして「(株) デジコンキューブ」を設立し、2010年に代表取締役役に就任した。また、2015年にEU向け青果・加工品輸出業「三四三(株)」を設立し、独・蘭・白を中心とした現地法人向け販売支援や、日本食店舗向けの食材支援業務を開始した。
- ・TASビル2階をインキュベーションに変えたが、どういうことをやっているのか紹介したい。インノベーションLaBという名前であるが、インノベーションとは、新しいアイデアから社会的意義のある新しい価値を創造し、社会的な大きな変化をもたらす自発的な人・組織・社会の幅広い変革を言う。インキュベーションとは英語で「卵を孵化する」「孵化器」という意味である。そういった意味から、長井に変化をもたらす「こと」起こしする人の芽出しを支援する施設である。言い換えれば、新事業の創設を支える、または自ら構築しようとする人を支援する施設である。
- ・なぜそうしようとしたかであるが、様々な課題を抱えている地方経済情勢の中で、工業・農業・商業モデルが変化をしていかなければならない状況になっている。また、様々なハラスメント、ワークライフバランス、女性活躍社会等の動きが出て、企業経営にリスクを伴うことも出てきている。その中で、社員がチャレンジしたり、新しい自分の会社を拡大するために提案することを創出しなければならぬことができた。インキュベーションは、商工会議所や地場産と連携し、運営や施設、ソフト面において支援している。資金は、国の加速化交付金41百万円を活用している。
- ・組織体制は、基本的には入居者と、マネージャーの加え、トータルコーディネーター、東京の中小企業の診断士に集まりであるコンサルタントというプロの会社を中心に様々な調整を行っている。

- ・施設は7部屋があり、現在4社が入っており、1社が置賜の農家と仕事をするために入る予定である。
- ・今後の展開は、地域内外の起業・創業者の創出・誘致活動、セミナー、相談会の開催、資金調達の相談・実行、美ジュネスプランの作成支援、交流イベントの開催等を行っていく。平成29年度はビジネスコンテストを開催する予定である。
- ・マネージャーとしては、起業経験者・経営者としての支援として、資金繰りや事業計画の支援や人脈ブリッジ支援等、知識コミュニティの構築等のための支援をやっていく。
- ・なぜ起業をするのか。起業やベンチャー活動が経済成長に与える影響が非常に大きく市場経済に変化をもたらし、経済成長を呼び起こす主要な担い手のひとりとなり成りうる。として国も後押ししている。
- ・若い人の意識、芽を摘まないようにしていきたい。グローバル競争の中で、対抗するにはジャパンプレミアムである。ものづくりや和牛などの農産物、あるいはサービス(おもてなし)など、日本の強みのあるもので、かつ1社ではなくチームを組んでやっていかなければならない。

☆次回例会予定

2月28日 ファイヤー サイド ミーティング
講話 渡部保太郎パストガバナー

☆出席報告

2月21日 例会 報告者： 大滝徹 会員

	会員数 (免除)	出席数 (免除)	出席 率	MU 数	修正 出席数	修正 出席 率
本日	27(1)	24(1)	88. 89%			
前回 (2/14)	27(1)	18(1)	70. 37%	2	20(0)	77. 78
前々回 (1/31)	29(3)	20(2)	68. 97%	2	22(3)	75. 86%